

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：夏花壇におけるペチュニア優良品種の選定（第 63 回全日本花卉品種審査会）			
〔要約〕夏花壇植栽に適するペチュニア優良品種は「スーパーチュニア ビスタ チャームパープル」、「YES! イエロー（旧系統名 GB60-1）」、「サルサ ピンクモーン」、「スーパーチュニア ビスタ パープル」、「サルサ パープル」である。			
キーワード ^o ペチュニア、夏花壇植栽、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 花植木研究室 協力機関 （一社）日本種苗協会		
実施期間	2017年度		

〔目的及び背景〕

千葉県は、花壇苗類全体の作付面積が 126ha（農林水産省・平成 29 年産花き生産出荷統計）であり、作付面積及び出荷量ともに全国第 2 位の大産地である。その中でも、ペチュニアは夏の花壇を飾る主要品目として、県内の多くの花壇苗生産者が栽培に取り組んでいる。花色、草姿ともに多様な品種が育種されていて人気が高い一方で、同時期の他品目と比べて雨や蒸れ、暑さに弱い。そこで、ペチュニアの新品種における生育・開花特性と、梅雨越し後の花壇における品質を明らかにし、本県での栽培に適した優良品種の選定を行う。なお、本試験は第 63 回全日本花卉品種審査会（ペチュニア（夏花壇））として実施する。

〔成果内容〕

- 1 6月6半旬及び7月1半旬は曇天が続き、花しみや灰色かび病が発生しやすかったが、それ以降、ペチュニアの生育に適した高温、乾燥、多日照が続いた（図1、図2）。本成果は、花しみや灰色かび病耐性と病害からの回復力が評価可能な気象条件において露地圃場で栽培された場合の立毛評価である。
- 2 第63回全日本花卉品種審査会（ペチュニア（初夏花壇））において審査した17品種のうち、露地圃場に定植した際の株のまとまり、花の傷みや株内部の葉枯れ症状の有無、開花数、被覆率（立毛審査）から、「スーパーチュニア ビスタ チャームパープル」（（株）ハクサン）、「YES! イエロー（旧系統名 GB60-1）」（（株）ミヨシグループ）、「サルサ ピンクモーン」（タキイ種苗（株））、「スーパーチュニア ビスタ パープル」（（株）ハクサン）、「サルサ パープル」（タキイ種苗（株））の5品種が入賞した（表1、写真1）。
- 3 入賞品種は7月25日の調査において被覆率が100%であり、葉枯れ・黄化が少なく、夏花壇として十分な観賞性を有する（表2、表3）。特に1等特「スーパーチュニア ビスタ チャームパープル」及び2等「YES! イエロー（旧系統名 GB60-1）」は花

しみと灰色かび病の発生が少ない。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域の花壇苗生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

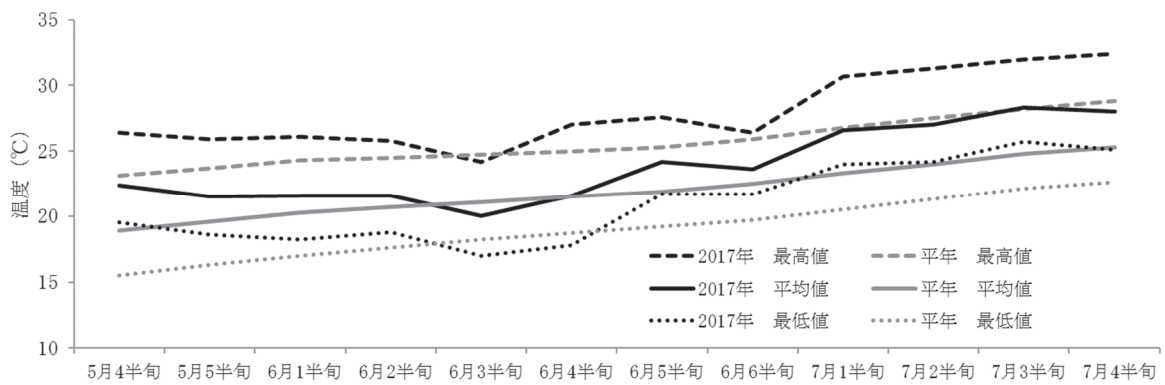


図1 半旬別気温の推移（アメダスデータ、千葉市）

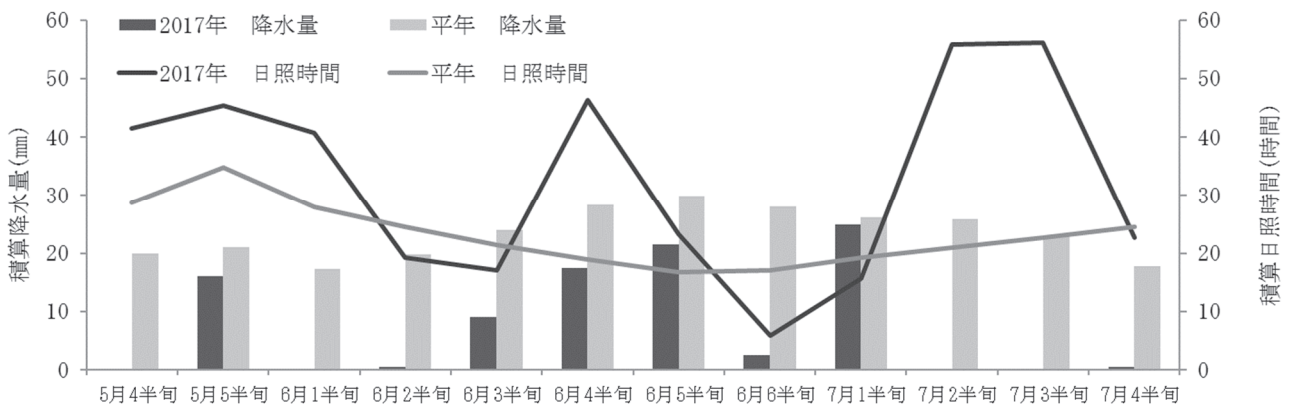


図2 半旬別降水量及び日照時間の推移（アメダスデータ、千葉市）

表1 第63回全日本花卉品種審査会（ペチュニア（初夏花壇））審査結果

順位	出品番号	平均点	等級	品種（系統）名	出品社
1	13	87.44	1等特	スーパーチュニア ビスタ チャームパープル	(株)ハクサン
2	19	87.33	2等	YES! イエロー（旧系統名 GB60-1）	(株)ミヨシグループ
3	3	83.78	3等	サルサ ピンクモーン	タキイ種苗(株)
4	9	82.44	3等	スーパーチュニア ビスタ パープル	(株)ハクサン
5	12	81.56	3等	サルサ パープル	タキイ種苗(株)
6	18	81.22			
7	4	80.89			
8	5	80.22			
9	15	78.67			
10	7	78.56			
11	11	75.33			
12	6	67.11			
13	1	64.00			
14	8	62.56			
14	16	62.56			
16	14	60.89			
17	10	60.78			

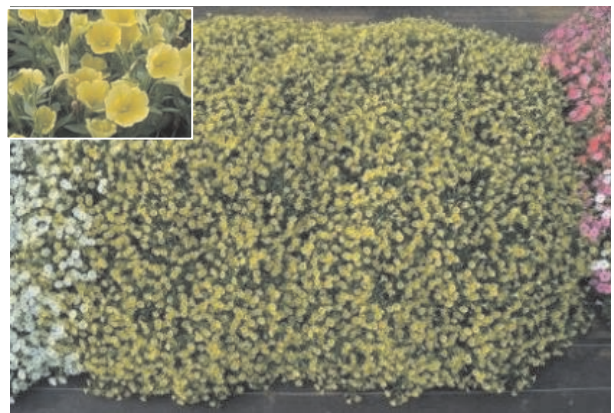
注1) 配点は立毛100点満点で2反復の平均点

2) 平成29年5月9、17、18日に苗（10.5cmポット）到着、定植までハウス内で管理

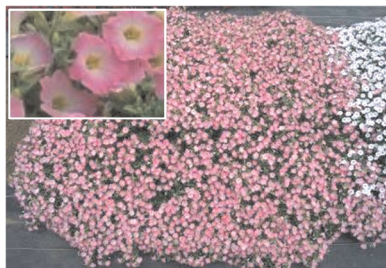
3) 5月22日に露地圃場（農林総合研究センター野菜研究室圃場、黒ぼく土）定植
 栽植規模：1区24株、2反復栽植様式：畝幅1.2m、区幅1.8m、株間・条間各30cm、4条植え
 施肥：基肥としてロングトータル花き1号100日タイプ（13-14-8）100kg/10a、
 燐硝安加里S604（16-10-14）30kg/10a
 審査会開催日：平成29年7月27日



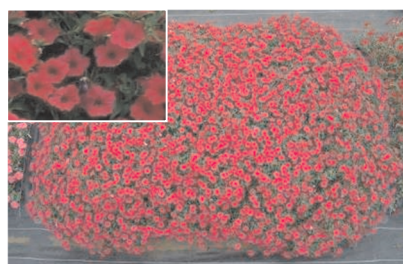
1等特別賞 スーパーチュニア ビスタ
チャームパープル (株)ハクサン



2等 YES!イエロー（旧系統名GB60-1）
(株)ミヨシグループ



3等 サルサ ピンクモーン
タキイ種苗(株)



3等 スーパーチュニア ビスタ
パープル (株)ハクサン



3等 サルサ パープル
タキイ種苗(株)

写真1 入賞品種の7月25日時点の生育状況

注) 栽植様式：畝幅1.2m、区幅1.8m、株間・条間各30cm、4条植え

表 2 開花数及び被覆率の推移と畝幅、畝の高さ

等級/順位	品種名/出品番号	開花数 (輪/m ²)			被覆率 (%)			畝幅 (cm)	高さ (cm)
		6月29日	7月11日	7月25日	6月29日	7月11日	7月25日	7月31日	7月31日
1 等特	スーパーチュニア ビスタチャームパープル	644	1,148	1,738	100	100	100	202	41
2 等	YES!イエロー (旧系統名 GB60-1)	550	896	1,262	100	100	100	215	43
3 等	サルサ ピンクモーン	478	900	820	100	100	100	224	41
3 等	スーパーチュニア ビスタパープル	458	1,058	1,312	90	100	100	177	55
3 等	サルサ パープル	418	520	842	100	95	100	224	32
6	18	424	1,016	950	100	100	100	237	47
7	4	914	1,238	1,136	100	100	100	187	56
8	5	1,680	3,168	2,750	75	100	100	171	28
9	15	854	1,538	1,288	95	95	100	176	46
10	7	546	856	1,170	100	100	100	199	61
11	11	330	416	710	100	80	90	224	38
12	6	254	332	666	80	70	75	202	40
13	1	258	214	374	75	60	70	214	48
14	8	244	276	384	70	65	75	185	44
14	16	330	528	788	85	75	90	192	48
16	14	240	338	580	25	25	55	—	24
17	10	120	234	306	75	70	75	181	35
全品種平均		514	863	1,004	86	84	90	200	43

注 1) 被覆率は、植物体が地面を覆う割合を達観にて百分率で示した

2) 畝幅は最も広い部分の幅、高さは最も高い部分の高さを測定した

3) 耕種概要、審査会開催日は表 1 に同じ

表 3 花しみ及び株内部の葉枯れ。灰色かび病発生程度の推移

等級/順位	品種名/出品番号	花しみ発生程度			葉枯れ・黄化発生程度			灰色かび病発生程度		
		6月29日	7月11日	7月25日	6月29日	7月11日	7月25日	6月29日	7月11日	7月25日
1 等特	スーパーチュニア ビスタチャームパープル	1	1.5	0.5	1	2	1	0.5	0	0.5
2 等	YES!イエロー (旧系統名 GB60-1)	0.5	1.0	1.5	1.5	2.0	1.0	0.5	1.0	0.5
3 等	サルサ ピンクモーン	1.0	1.0	2.5	1.5	1.0	1.5	0.5	0	1.0
3 等	スーパーチュニア ビスタパープル	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	0	0.5	1.0
3 等	サルサ パープル	1.0	1.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	0.5
6	18	1.5	1.5	1.0	0.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
7	4	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	0.5	0.5
8	5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	0	1.0
9	15	1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0
10	7	3.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.5	0	1.0	0
11	11	1.5	1.5	1.5	3.0	3.5	3.0	1.0	1.0	1.0
12	6	3.0	2.0	2.5	4.0	4.5	3.5	2.0	1.0	1.0
13	1	2.0	2.0	2.5	4.5	5.0	4.0	2.0	1.0	1.0
14	8	3.0	3.0	2.5	4.5	4.5	4.0	2.0	1.0	1.0
14	16	1.5	2.0	1.0	3.5	4.5	5.0	1.5	1.0	1.0
16	14	1.0	1.0	1.5	2.0	2.5	3.5	0	1.0	1.0
17	10	4.5	3.5	2.5	5.0	4.5	5.0	1.5	1.0	1.0
全品種平均		1.7	1.6	1.6	2.4	2.7	2.4	1.0	0.8	0.8

注) 発生程度を達観にて 0 (無) ~ 5 (激) に指数化し判定した 耕種概要、審査会開催日は表 1 に同じ

[発表及び関連文献]

- 1 審査会報告・第63回全日本花卉品種審査会、種苗界、10・11月号、2017年
- 2 平成30年度試験研究成果発表会（花植木部門Ⅱ）

[その他]

入賞品種・系統の商品化や販売状況等については各種苗会社に問い合わせること。